

テーマ

今日から始めるキャリアビジョン^{*}の作成

キャリアビジョン[アクションプラン]の作成

秋田県よろず支援拠点コーディネーターの鈴木聖子です。2023年が始まりましたね。新しい年を迎えて、今年はどうな仕事をしようかと思いを巡らせた方もいらっしゃるかもしれません。皆さんの中には、今年目標を立てた方も少なくないのではないでしょうか。

秋田県よろず支援拠点はもちろん、それ以外で関わっている企業の方から、「幹部職員を育成したい」「女性を活躍させたい」「若い人の離職を防ぎたい」といったご相談を受けることが数多くあります。今回はそんな時に考えて欲しいこととして、「キャリアビジョン(アクションプラン)の作成」について一緒に考えてみたいと思います。



1 変化する働き方

キャリアは「仕事」「経歴」という意味で使われますが、人生100年時代と言われている今は、「人生そのもの」ともいわれています。そんな中で、ぜひ考えていただきたいのがキャリアビジョン(アクションプラン)の作成です。かつての日本では、多くの企業が一度企業に勤めると退職することがない終身雇用制度、そして年功序列制度という考え方を取り入れていました。しかしグローバル化が進む現在は、働き方はこの2つの制度から新しいものに変化しつつあります。こうしたなか、必要だといわれているのがキャリアビジョン(アクションプラン)の作成です。

*キャリアビジョンとは…仕事や人生において、自分自身がなりたいと思う姿のことを指します。

2 3つのメリット

キャリアビジョン(アクションプラン)は、「過去・いま(現在)・未来」を結び、従業員と企業を結びとても大切なものです。メリットとして、ここでは主に3つ挙げます。



Melit 01

会社に入ってからこれまでの業務について棚卸しすることが出来るので、従業員は自身の現在のスキルや強み・弱みを知ることが出来ます。これは自分自身にとってはもちろん、会社にとっても大変重要なことです。

Melit 02

それを知ったうえで、2つめのメリットとして、自分がどんな働き方をしたいのか、そしてどんなスキルを身につけたいのかを考えていくのです。例えば、育児・介護休業者が復帰する際にも不安を取り除くことも出来ますし、企業にとっても従業員の価値観を確認することができ、職場に定着しやすい環境づくりの一助になります。

Melit 03

そのうえで、3つめに挙げられるメリットとして「未来について」を考えていくことが出来るのです。プランの作成時には、企業によって違いはありますが、近い将来…半年後や1年後といったスパンから3年後、5年後という中長期プランを考える場合もあります。言語化・可視化することで、より具体的に目標を定めたり、自分自身はもちろん、企業から見ても在籍している部署に合っているかどうかを確認したりすることが可能です。

また、キャリアビジョン(アクションプラン)は定期的に作成することで軌道修正や目標を考え直すことも可能です。社員のモチベーションのアップにもなりますが、企業側にとっては組織に課題が見つかる場合もあります。こうしたキャリアビジョン(アクションプラン)とキャリアコンサルタントによるキャリアカウンセリング等を組み合わせたものをセルフキャリアドックと呼び、国はいま企業内での実施を推進しています。



PROFILE

秋田県よろず支援拠点 コーディネーター
鈴木 聖子 Suzuki Shoko



[主な経歴]
県内の放送局に約25年勤務し、記者やディレクター、社長秘書の業務を担当する。2020年にキャリアチェンジを図り、キャリアコンサルタント(国家資格)・産業カウンセラーの資格を取得し「キャリアプランあきた」を開業。県内や首都圏等の企業で人材育成の仕事に携わっている。

3 ワクワクの積み重ねが成長へ

私が会社員時代、「仕事は楽しいだけではダメだ!」と上司に言われた時期もありました。しかし、本人がワクワクしたり、楽しんだりすることができなければ仕事のやりがいやモチベーションが上がらないと思うことも最近では少なくありません。キャリアビジョン(アクションプラン)は作っているという県内の企業の方もいらっしゃると思いますが、課題や目標、また成果設定に齟齬がないかも確認していきましょう。小さなワクワクを積み重ねると、大きなスキルアップに繋がります。一方で、小さなモヤモヤをそのままにして放置し、溜まってしまうと大きな問題の発生や離職に繋がることさえあります。小さなうちにワクワクやモヤモヤを拾い上げ生産性の向上を図るためにも、社内ですりどりのキャリアビジョン(アクションプラン)を作成し、企業の成長に繋げていきましょう。



自社の従業員に対する人材育成やキャリアビジョンの作成のご相談は
秋田県よろず支援拠点 018-860-5605にお気軽にご相談ください。お待ちしております。